

## 監督及び競技者に対する注意事項

- (1) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、駅伝競走規準により次の区間から次走者を出発させる。この場合の出発の時期は最下位チームの走者と同時出発させ総合記録は認めないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める。
- (2) 配布された2枚のナンバーカードは、ユニホームの胸・背に確実につけること。
- (3) 各走者はタスキを肩から脇にかけて走り、次走者にこれをリレーする。(タスキは主催者で準備したものを使用する)  
タスキを肩にかけていない者は失格となる。但し、引継ぎ前400m及び引継ぎ後200mは手に持って走ってよい。
- (4) 競技中、タオル・スポンジ及び飲食物の補給、その他の援助を行うことはできない。  
\*各区間に給水所を設置する
- (5) 競技者はいかなる場合でも道路の左端側を走らねばならない。右折の場合、道路の中心点を越えず右折する。但し、警察官及び大会役員の指示する場合はその指示に従うこと。
- (6) ウォーミングアップは歩道で行う。止む無く道路を使用する時は安全に留意し左端で行う。
- (7) 中継所において、タスキを渡し終わった選手は、すみやかに左側の歩道にはいる。
- (8) 競技運営上、**1位通過後10分で繰上げスタートする**。中継所においては中継所主任の指示に従うこと。
- (9) 大会本部で監督車両2台準備する。  
コース上における伴走(自転車や車での応援も含む)としての応援は、失格の対象となる場合がある。  
\*各チームの監督は、下記のいずれかに乗車すること  
**1号車：上位チーム**  
**2号車：下位チーム**
- (10) 名護市陸上競技場は、駐車スペースが少ない。また、同競技場周辺は駐車禁止となっているので、駐車場については下記のとおりとする。  
選手：名護市民会館、21世紀の森公園体育館  
競技役員：名護市役所駐車場